

琉球弧の
湧水をめぐる
ソングスーパード

芸術表現を通じた
環境教育の
研究実践報告

2025年4月19日(土)
沖縄県立芸術大学音楽棟
大合奏室



琉球弧の湧水をめぐるソングスケープ

— 芸術表現を通じた環境教育の研究実践報告 —

日時 2025年4月19日(土) 14時30分～16時 ＊開場14時

場所 沖縄県立芸術大学音楽棟 大合奏室

対象者 中学生以上であればどなたでもご参加いただけます。

定員 50名

〈事前申込制〉



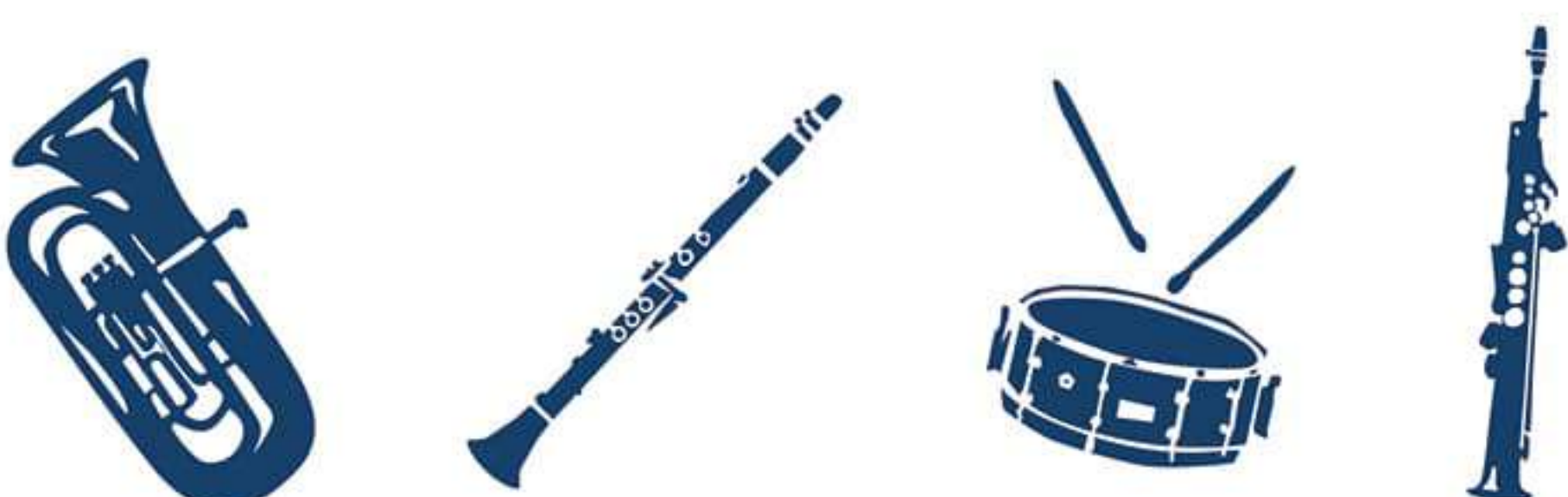
QRコードを読み取り
Googleフォームよりお申し込みください。
申し込み締め切りは4月17日(木)です。

お問い合わせ

沖縄県立芸術大学 音楽学部 音楽文化専攻
向井大策 ✉️ mukai@okigei.ac.jp

主催 沖縄県立芸術大学 音楽学部 向井研究室

助成 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 LINKAGEプロジェクト



〔Concept〕

私たちは宮古島、伊江島、与論島の各地に点在する湧水について、「歌」を手がかりにリサーチを行い、島々で暮らす人びとにとってこれらの湧水がどのような意味を持ってきたのかを探る研究プロジェクト「琉球弧の湧水をめぐるソングスケープ」を行っています。2024年に私たちは鹿児島県立与論高等学校吹奏楽部のみなさんとともに、サンゴ礁島嶼系の陸と海の水循環と人々の生活文化の関わりについて与論島の湧水から考えるフィールドワークと音楽ワークショップを行いました。

今回の研究発表会では、その成果として与論高等学校吹奏楽部のメンバーが作曲した楽曲「島に流れる水の導き」をお披露目するとともに、トークセッションとミニ・ワークショップを通して、芸術表現による環境教育や地域の自然環境の潜在可能性をめぐる社会的な対話の方法論について考えてみたいと思います。

〔Program〕

1. 演奏&トークセッション
2. ワークショップ「創作のドアをひらこう」（講師：春畑セロリ）

〔出演〕

鹿児島県立与論高等学校吹奏楽部、堀之内拓郎（与論高等学校教諭）
泉美幸（同高校教諭）、春畑セロリ（作曲家）、ドン久保田（ベーシスト、特別出演）
呉屋淳子（沖縄県立芸術大学教員）、向井大策（沖縄県立芸術大学教員）